

南アルプス 甲斐駒、仙丈岳

2016年12月29～31日

メンバー；L谷内、倉澤、久保

年末山行兼冬山錬成として甲斐駒、仙丈に行ってきました。両日とも天候に恵まれ、暗いうちからの一番行動にてトレースのかき消された雪稜登攀的要素も楽しめ、積雪量は少ないものの風に吹かれクラスト～氷化した雪面でのアイゼン歩行技術が試された二日間でした。

12/29 くもり～晴れ

AM6時茅野発 - 7:05 戸台河原駐車。年末恒例の遭対協の係りの方に計画書を提出し雪のない旧車道を 7:20 出発。以前はスムーズに歩けた車道が決壊しており数回の渡渉あり。濡れないように渡渉ポイントを探しあぐねるいやらしいアプローチとなっており時間をくい 10:30 丹溪山荘。八丁坂の登りはカリカリで滑りやすくアイゼンのお世話になる。13:10 長衛小屋テンバ着。積雪 20センチくらいと少なく水場はしっかり出ている。明日に備え仙水小屋方面の偵察を行いか細いながらもトレースあり暗いうちからの行動可能と判断。夕方には 20 張りくらいと賑わってくる。夕方の天気図作成にて日本海側を寒冷前線が過ぎ冬型に向かいそうで宵の口にはけっこうの風に吹かれテントがゆらされる。

12/30 快晴

AM3時起床 - 4:30 発。5:34 仙水峠。風強く上部での行動が心配。7:30 駒津峰着。耐風姿勢が必要なくらいの強風にみまわれる。この先六万石まではトレースが風で埋もれてきれいな雪稜ルートとなっており今日の一番乗りでこれたことに感謝し慎重に進む。また駒津峰から下ると風も少し落ち着き一安心。六万石から先の直登ルートは岩と雪のミックス帯で所々氷化しており下降の事を念頭に置いてのルートどりが必要。9:10 甲斐駒山頂。黒戸側から早立ちしてきた単独者に写真を撮ってもらい、行動食をとれるくらいの風で助かる。往路を慎重に下るが二人ともアイゼンワークはしっかりしており、状況により必要になりうると持ち上げたロープ、ハーネスは使わずにすむ。12:10 テンバ帰着。風もおさまり穏やかな午後を過ごす。夕方には 30 張りくらいと混雑の様相を呈してくる。

12/31 快晴

仙丈往復後下山予定の為 AM2時起床、3:25 発。大滝ノ頭の先で若い女性二人に出会う。昨日強風のため小仙丈で撤退し本日再挑戦とのこと。たいした根性である。森林限界を抜けるとそこそこの風が出てくる。駒と違いこの先岩場はなくクラストした広大な雪面、雪稜となり昨日以上に滑落に注意が必要である。

6:30 小仙丈。この先がけっこう長く所々氷化したバーンのトラバースがあったりしていやらしい。7:30 ようやくといった感じで仙丈着。風強く証拠写真を撮った後ちよい下の窪地に降り立ち休止。くだんの女性パーティーも追いつきもうちよいで頂上。よかったねと拍手。往路を慎重に下降。小仙丈の斜面辺りからぞくぞくと登ってくる人が増えてくる。早立ちのおかげで悪場での交錯がなく助かったという感じである。9:50 テンバ帰着。撤収後 10:20 下山。越年登山者が次々と登ってくる。今晚は小屋もテンバもすごいことになりそう。12時 丹溪山荘。14:15 駐車場帰着。仙流荘で汗を流しお年とりの待つ茅野へ向かった。